

N-RAID 4300C Series はじめにお読みください

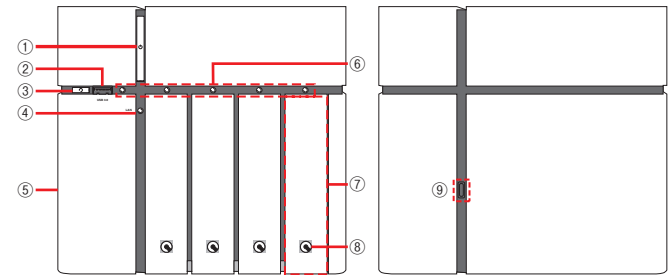
このたびは、弊社製 NAS RAID 装置 **N-RAID 4300C** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。
正しくセットアップするために、以下の解説とユーザーズマニュアルをご覧ください。

構成品 パッケージ内容

- ☐ N-RAID 4300C 本体..... 1 台
- ☐ ドライブホルダー（標準モデルの場合）..... 4 台
（スペアドライブ付属モデルの場合）..... 5 台
- ☐ AC アダプター..... 1 個
- ☐ 電源ケーブル..... 1 本
- ☐ ネットワークケーブル 2 本
- ☐ ロックキー 1 本
- ☐ ユーティリティ DVD..... 1 枚
- ☐ はじめにお読みください（本書）..... 1 部
- ☐ 保証書 1 部
- ☐ ユーザー登録用紙..... 1 部
- ☐ N-RAID オンサイト修理サービス申込書
（オンサイトモデルのみ）..... 1 部
- ☐ N-RAID オンサイト修理サービスのご加入について
（オンサイトモデルのみ）..... 1 部

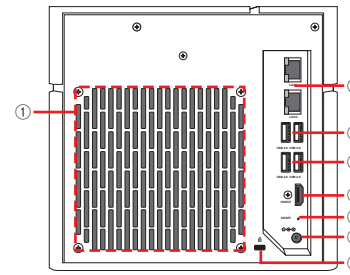
各部の名称とはたらき

前面・左側面



① 電源スイッチ / ランプ	電源が ON の時に点灯 / 点滅します。
② USB 3.0 ポート	USB3.0 に対応した機器を接続するコネクタです。
③ USB コピーボタン / ランプ	前面の USB3.0 用コネクタに接続したデバイスとのコピーを開始します。
④ LAN ステータスランプ	LAN ポートの動作状況を示します。
⑤ サービスドア	内部へアクセスする為のメンテナンス用の扉です。
⑥ HDD と SSD のステータスランプ	HDD と SSD の動作状況を示します。
⑦ トレイ	ここにドライブホルダーを装着します。
⑧ カギ穴	ドライブホルダーをロックするためのカギ穴です。
⑨ ドアロック	サービスドアを開く際にロックキーを差し込みます。

背面

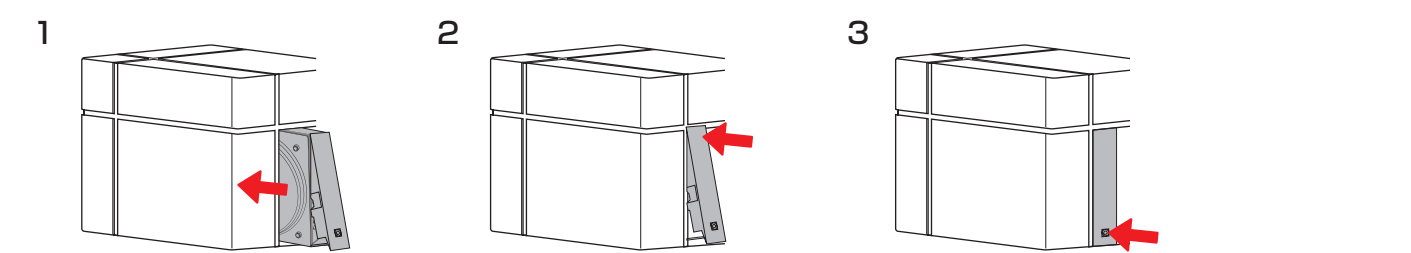


① 背面ファン排気口	冷却用ファンの排気口です。
② ギガビット LAN ポート	ネットワークケーブルを接続します。
③ USB 3.0 ポート	USB3.0 に対応した機器を接続するコネクタです。
④ USB 2.0 ポート	USB2.0 に対応した機器を接続するコネクタです。
⑤ HDMI ポート	モニター出力ポートです。
⑥ 工場出荷時のデフォルトにリセットするボタン	システムを工場出荷時にリセットします。
⑦ 電源ポート	AC アダプターを接続します。
⑧ ケンジントンロック	盗難防止用のケーブルを取り付けることで本製品を盗難から防止できます。ケンジントンセキュリティスロットの規格に準じた盗難防止キーをご使用ください。

本製品にドライブホルダーを取り付ける

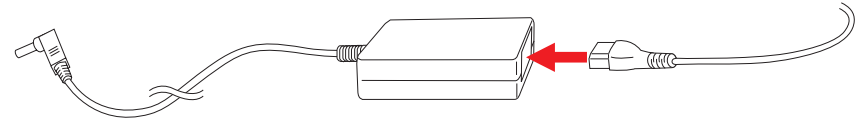
必ず電源が OFF の状態で、正面に向かって左から番号順にドライブホルダーを取り付けてください。
※ドライブホルダーは本体と別の箱に収納されています。
※スペアドライブモデルをご購入の場合、スペアドライブを取り付けないようご注意ください。

- レバーの持ち手が下になるように、ドライブホルダーを本体トレイに差し込みます。
- しっかり奥まで差し込まれているか、指でレバーの根元を押して確認します。
- レバーを置みます。「カチッ」という音します。



本製品に AC アダプターを取り付ける

1. AC アダプターと電源ケーブルを接続し、AC アダプター側のコネクターを本製品に取り付けます。

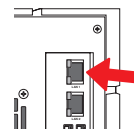


2. 電源コンセントに電源ケーブルを接続します。

※外部 UPS 装置からのシャットダウン通知を使用する場合は、電源ケーブルを UPS 装置に接続してください。弊社では APC 社の「Smart UPS SMT500J」を推奨しています。(2023 年 3 月現在)

本製品にネットワークケーブルを取り付ける

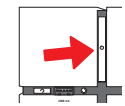
1. 本製品背面の LAN1 ポート（上部）に添付のネットワークケーブルのコネクターを接続します。
※固定 IP を設定する（もしくは DHCP を参照できない）場合は、LAN2 ポート（下部）に接続します。



2. ネットワークケーブルの反対側のコネクターをネットワークスイッチングハブに接続します。
※必要に応じて、LAN2 ポートも同様の作業を行います。

本製品を起動する

1. 本製品前面の電源ボタンを押して起動します。



2. 約 2 分後に起動が完了するとブザーが 1 回鳴ります。

※本製品に AC アダプターを接続してから電源を ON にすると、動作の安定性を確保するために初回のみ電源 ON 数秒後に再起動されます。(その後の運用については P.10 を参照してください。)

IP アドレスを確認する

1. 本製品の IP アドレスを確認するためのアプリ「Finder」をユーティリティ DVD よりクライアント PC へコピー、もしくは弊社 Web サイト (<https://www.yano-sl.co.jp/>) よりダウンロードします。
2. お使いのクライアント PC によって、以下の通りインストールします。

【macOS クライアント（10.10.5 以降）】
「Finder_1.1.1.jar」をダブルクリックして起動します。
※「Java runtime」が macOS クライアントにインストールされていない場合は、以下のリンク先から事前にダウンロード・インストールしてください。(https://www.java.com/ja/download/)

【Windows クライアント（8.1 以降）】
「Finder_1.1.1_setup_64bit.exe」をダブルクリックしてインストール・起動します。
※ WindowsOS (32bit) をお使いの場合は、「Finder_1.1.1_setup_32bit.exe」をダブルクリックしてインストール・起動します。

3. アプリ「Finder」をダブルクリックして起動すると、同じネットワークに接続されている本製品がリスト表示されます。

※起動時に「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合は「はい」を選択してください。

安全上のご注意

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。

- ❗ 本製品を使用する際は、ご使用のパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。
- ❗ 本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、故障時の保障対象外となります。
- ❗ 本製品やパソコン本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置 / 保管してください。触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。
- ❗ 火災や感電、故障の原因となりますので、AC100V（50/60Hz）以外のコンセントを使用しないでください。
- ❗ 本製品付属以外のケーブル、AC アダプターを使用しないでください。
- ❗ 電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
- ❗ ケーブル類や電源プラグ、AC アダプターは、傷付けたり破損しないように注意してください。ケーブル類や電源プラグ、AC アダプターを踏みつけたり、上に物を載せないでください。傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。
- ❗ めれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- ❗ 電源ケーブル（AC アダプター）を壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだり、極端に折り曲げたりしないでください。
- ❗ 電源ケーブル（AC アダプター）を抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。
- ❗ 水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やパソコン本体を使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。
- ❗ 本製品やパソコン本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ 風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- ❗ 本製品の周辺に放熱を妨げるような物や熱器具を置いたり、加熱しないでください。
- ❗ 本製品やコンピューター本体、AC アダプターの異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いた時は、直ちに電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあとご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- ❗ 本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。
- ❗ 必要なデータはバックアップするようにしてください。本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしません。
- ❗ 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
- ❗ 本製品やパソコン本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。
 - ・不安定な場所・ホコリの多い場所
 - ・振動のある場所
 - ・高温/多湿な場所
 - ・衝撃のある場所
 - ・傾斜面
 - ・たばこの煙
 - ・腐食性ガス雰囲気中
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・水気の多い場所(台所、浴室など)
 - ・強い磁気の発生する場所
 - ・暖房器具の近く
 - ・飲食物の近く
 - ・静電気の影響を受けやすい場所
- ❗ 本製品の稼働中に電源ケーブルや、接続ケーブルなどを抜かないでください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
- ❗ 本製品のコネクター部分には触れないでください。故障の原因となります。
- ❗ 本製品や付属物の上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となります。
- ❗ 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さないでください。
- ❗ AC アダプターを空中にぶらさげないでください。故障や事故の原因となります。
- ❗ 本製品を移動する時は、電源を切ってから AC アダプターもしくは電源ケーブルを取り外してください。機器の故障やデータ損傷の原因となります。
- ❗ 本体が熱い時はさわらないでください。本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。
- ❗ 本製品が結露した状態で使用しないでください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間をおいて結露がなくなってからご使用ください。
- ❗ 本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。
 - ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されません。特殊なソフトウェアなどを使用して、データを復元、再利用される可能性があります。情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。
 - 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にご確認ください。

故障かな？と思ったら

製品を購入された販売店もしくは弊社までお問い合わせください。弊社では「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。

ヤノ販売株式会社 カスタマーサポート

住所：〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟 2F
Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983
月曜日～金曜日 午前9：30～12：00 午後1：00～5：00

Web：www.yano-sl.co.jp E-mail：info@yano-sl.co.jp

また、弊社Web サイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバースoftwareおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

トラブルシューティング：https://www.yano-sl.co.jp/support/qa/
ソフトウェアの更新：https://www.yano-sl.co.jp/download/soft/

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. 078-646-7303(営業) Fax. 078-646-8982
E-mail: info@yano-sl.co.jp Web: www.yano-sl.co.jp



こんな時には

？ ブザーが鳴り続けている

- 本体正面の各ランプの色を確認してください。

電源ボタン	白点滅	起動中、シャットダウン中、ブールが構成されていない
	消灯	電源OFF
	黄点灯	データ領域の使用量が 95%以上の場合 HDD に問題が発生している ハードウェアに何らかのエラーが発生している
	白黄点滅	RAID構築中 ファームウェアの更新中
HDD/SSD ステータスランプ	青点灯	ディスクが接続されている
	青点滅	アクセス中
	黄点灯	エラーが発生している
	青黄点滅	リビルド中
	消灯	ディスクが接続されていない
LAN ステータスランプ	青点灯	ネットワークに接続されている
	青点滅	アクセス中
	消灯	ネットワークに接続されていない
	消灯	ネットワークに接続されていない
USB コピーボタン	青点灯	本体に USB デバイスが認識されている
	青点滅	USB デバイスにアクセス中
	消灯	本体に USB デバイスが認識されていない
	消灯	USB デバイスが接続されていない

- 管理画面にログインできる場合、コントロールパネル＞システム＞ログを開き、エラーの内容を確認ください。

？ 停電が発生して本製品の電源が OFF になった／自動的に再起動した

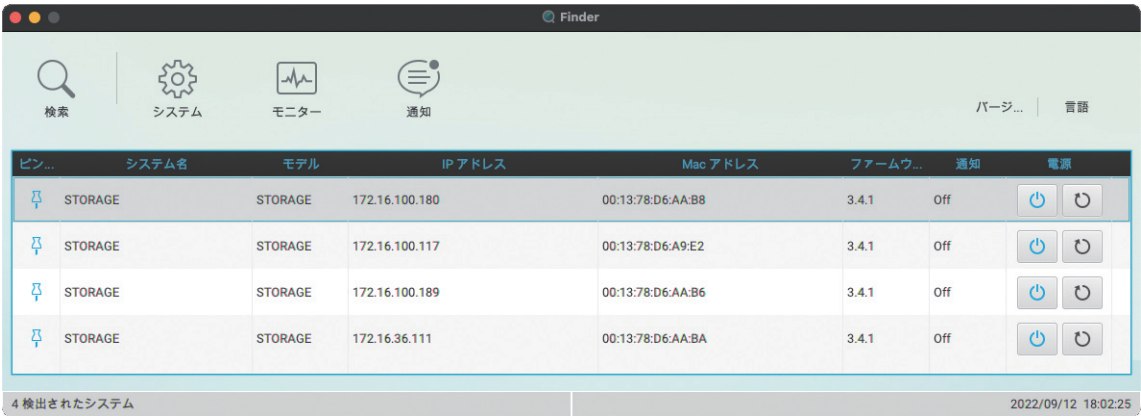
- 停電が解消次第、本製品の電源を ON にして、ボリュームやデータ、設定情報が損傷していないか確認してください。
- 停電や引越し等によって本体から AC アダプターを取り外した場合、また停電によって AC アダプターへの電力供給が一旦 OFF になった場合、動作の安定性を確保するために初回のみ**電源 ON 数秒後に再起動されます**。

？ クライアントから本製品につながらない

- 一部のクライアントのみ接続できない場合、そのクライアントのネットワーク設定や接続経路に問題ないか確認してください。
- ネットワークコネクタの接続を確認してください。
- スイッチングハブやルーターなど、中継地点を含めてポートが故障していないか確認してください。
- 固定 IP の場合は、本製品とクライアント PC をネットワークケーブルで直結してお試しください。

？ 異音・起動しない・フリーズする

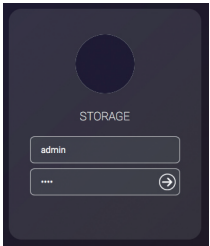
- 本製品に接続している USB 機器を全て取り外し、電源ケーブルを別の場所へ接続して問題が改善されるか確認してください。
- 外部 UPS に接続している場合、UPS 以外の電源コンセントに接続して問題が改善されるか確認してください。




- 4. 本製品の出荷時設定は以下の通りです。
LAN1：DHCP（参照できない場合は自己割り当て IP アドレス 169.254.xxx.xxx になります）
LAN2：固定 IP 10.0.102.1 サブネット 255.255.255.0
ネットワークケーブルを LAN2 ポートへ接続している場合、クライアント PC のネットワークセグメントを一時的に本製品と同じに設定する必要があります。（例：10.0.102.2）
- 5. 本製品の IP アドレスを確認後、アプリ「Finder」を閉じます。

管理画面にログインする

1. 任意の Web ブラウザのアドレス欄に本製品の IP アドレスを入力して Enter キーを押し、ログイン画面を開きます。
2. 初期アカウント：「admin」と初期パスワード：「1234」を入力してから「→」ボタンをクリックします。




ネットワークを設定する

1. LAN1/LAN2のネットワーク設定を変更する場合、左上メニュー  から「コントロールパネル」をクリックします。
2. メニュー「システム」＞「ネットワーク」を開き、設定を変更するインターフェイスを選択して「編集」ボタンをクリックします。
3. 編集が完了したら「確認」ボタンをクリックします。

※システムを再起動する必要はありません。
※クライアント PC のネットワーク設定を一時的に変更している場合、NAS のネットワークを変更後、元の設定に戻してください。


ユーザーを作成する

1. 左上メニュー  から「コントロールパネル」をクリックします。
2. メニュー「ファイル共有」＞「ユーザー」をクリックします。
3. 「作成」ボタンをクリックします。
4. 必要な情報を入力して【確認】をクリックすると新規ユーザーが作成されます。
※ユーザーの Home フォルダを作成しない場合は、「ユーザーの Home フォルダを有効にする」のチェックを外してください。
※ユーザーを管理者に設定する場合は、「管理者の割り当て（管理者の最大数：4）」にチェックをつけてください。




グループを作成する

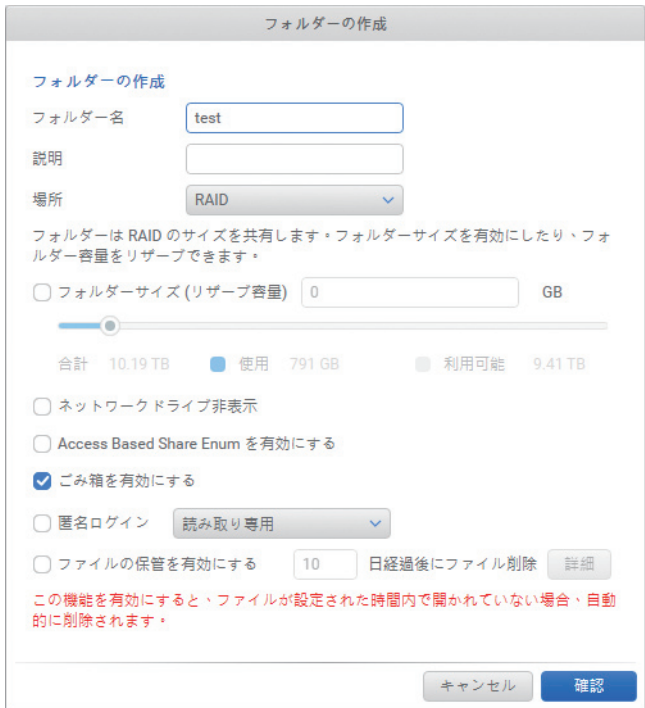
グループの作成は必須ではありません。多くのユーザーを作成する場合は、ユーザーをグループに所属させておくアクセス権限をグループごと一括設定できるようになります。

1. 左上メニュー  から「コントロールパネル」をクリックします。
2. メニュー「ファイル共有」>「グループ」をクリックします。
3. 「作成」ボタンをクリックします。

共有フォルダーを作成する

1. 左上メニュー  から「コントロールパネル」をクリックします。
2. メニュー「ファイル共有」>「フォルダー」をクリックします。
3. 「共有フォルダー」のタブをクリックします。
4. 「作成」ボタンをクリックします。
5. 「共有フォルダーを作成する」を選択して「次」をクリックします。
6. 必要な情報を入力して【確認】をクリックすると新規共有フォルダーが作成されます。

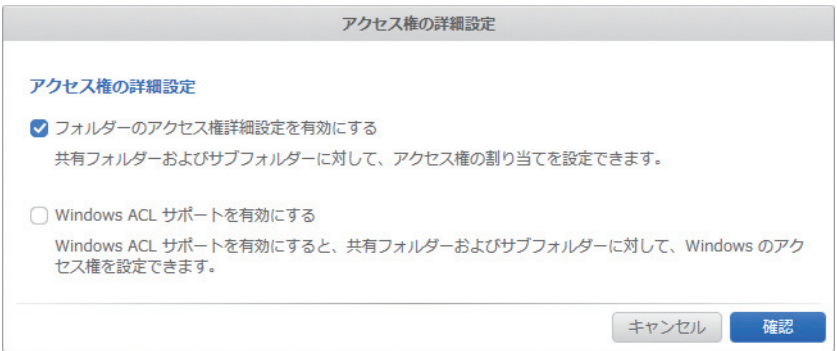
※匿名ログイン（ゲスト）アクセスは SMB のみ対応しています。AFP、FTP はゲストアクセスに対応していません。



共有フォルダー作成画面のスクリーンショット。フォルダー名「test」、説明、場所「RAID」が設定されている。フォルダーサイズ（リザーブ容量）は 0 GB。合計 10.19 TB、使用 791 GB、利用可能 9.41 TB の容量情報が表示されている。下部には「ネットワークドライブ非表示」、「Access Based Share Enum を有効にする」、「ごみ箱を有効にする」（チェック済み）、「匿名ログイン」（読み取り専用）、「ファイルの保管を有効にする」（10 日経過後にファイル削除）などのオプションがある。

アクセス権を設定する

1. 共有フォルダーのサブフォルダーに個別のアクセス権を設定する場合、「設定」ボタンをクリックして詳細画面を開きます。
「フォルダーのアクセス権詳細設定を有効にする」にチェックをつけて「確認」ボタンをクリックします。



アクセス権の詳細設定画面のスクリーンショット。チェックボックス「フォルダーのアクセス権詳細設定を有効にする」が選択されている。説明として「共有フォルダーおよびサブフォルダーに対して、アクセス権の割り当てを設定できます。」とある。下部には「Windows ACL サポートを有効にする」のオプションがあり、その説明として「Windows ACL サポートを有効にすると、共有フォルダーおよびサブフォルダーに対して、Windows のアクセス権を設定できます。」とある。


※共有フォルダーとサブフォルダーのアクセス権を同じする場合、この設定は必要ありません。

※「Windows ACL サポートを有効にする」の機能は Windows のみサポートしており、初期アクセス権との同時使用は非常に複雑な設定が必要になるため、推奨していません。

2. 共有フォルダーの画面において、作成した共有フォルダーを選択します。

外部 UPS 装置からのシャットダウン通知を設定する（オプション）

外部 UPS 装置を使ってシャットダウン通知を設定すると、停電の際に安全にシャットダウンできます。

1. 左上メニュー  から「コントロールパネル」をクリックします。
2. メニュー「システム」>「電源」を開き、「UPS」のタブを選択します。
3. タイプで「USB」を選択します。
4. バッテリー通知とシャットダウン時のバッテリー残量を指定します。（任意）
5. 「適用」ボタンをクリックしてステータスに「Running」と表示され、バッテリー残量が青色になれば設定完了です。



コントロールパネルの UPS 設定画面のスクリーンショット。タイプは「USB」、バッテリー通知は「80」、シャットダウン時のバッテリー残量は「50」、シャットダウン遅延時間は「0」に設定されている。ステータスは「Running...」と表示され、バッテリー残量は「(100%)」と表示されている。

※ NAS の再起動完了後、本設定が反映されるまで 5 ～ 10 分かかります。

その他の機能詳細について

ユーティリティー DVD の「リファレンスマニュアル」を参照してください。

外部接続について

本製品の設定項目についてはユーティリティー DVD のリファレンスマニュアルをご覧ください。

FTP — P.65

WebDAV — P.66

VPN — P.95

本製品の設定値、必要なクライアントのアプリ、ルーターなど他機器の設定内容についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。

データ保証について

本製品の中に作成、保存したデータがハードウェアの故障や誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合、弊社は理由の如何に関わらずデータの保証をいたしかねます。必ずデータのバックアップを行ってください。

USB バックアップ (NAS - USB HDD)

USB で接続したデバイスへバックアップします。


※リモートバックアップやスナップショットと比べて速度が遅いため、推奨しておりません。



※事前に USB デバイスを Windows クライアントに接続して「GPT パーティション」+「NTFS」形式でフォーマットする必要があります。

※バックアップに対応している USB ポートは前面のみです。

1. 上記の通りフォーマットした USB デバイスを本製品の前面 USB ポートに接続します。接続が完了すると、USB コピーボタン（前面 USB ポートの左側）が点灯します。
2. 管理画面のショートカットアイコン「バックアップ」をダブルクリックします。
3. 開いたウィンドウの左メニュー「USB バックアップ」を選択します。
4. 「USB ワンタッチコピーを有効にする」にチェックを入れ、「NAS から USB」を選択して「適用」ボタンをクリックします。



5. 「+」ボタンをクリックします。
6. タスク名（任意）を入力し、 をクリックしてバックアップ元(NAS)とバックアップ先(USB デバイス)のフォルダーを指定します。
全て指定したら「次」をクリックします。
- ※ USB デバイスのサブフォルダーを指定する必要がなければ、宛先は「usbshare 1-x(x は数字)」を選択してください。
7. 「同期」を選択して「次」をクリックします。
8. スケジュールを選択してその内容を指定し、「次」をクリックします。
9. 最終確認画面の内容を確認し、「確認」をクリックします。
10. タスクが作成され、指定日時になると自動的にバックアップが開始されます。

タスクのリスト					   
Task name	バックアップ元	バックアップ先	スケジュール	方法	
test	test/	FrontUSB/	無効	同期	

※バックアップの開始、完了はこのウィンドウの「ログ」で確認できます。

3. 画面右側のスクロールバーを下にスクロールすると、アクセス権の設定枠が表示されます。



4. アカウントの項目において「ユーザー」または「グループ」を選択して、ユーザーまたはグループごとに設定したいアクセス権にチェックをつけて「適用」ボタンをクリックします。

※従来の N-RAID シリーズとは異なり、アクセス権限の優先順位が「アクセス拒否」>「読み取り専用」>「読み取り / 書き込み」となります。

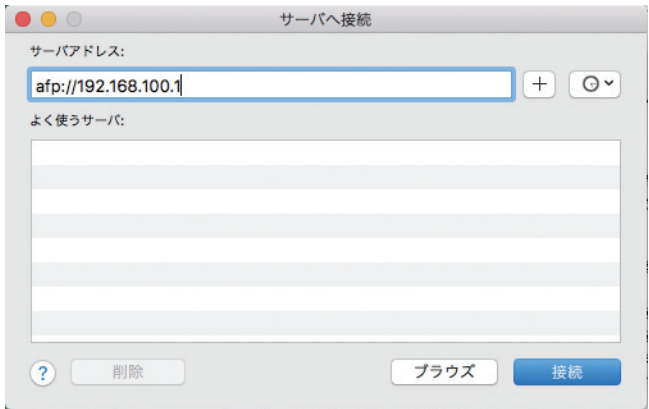
※アクセス権は共有フォルダーを作成した時に設定してください。データを入れた後に設定すると、ファイル・フォルダーの数によって非常に長い時間がかかります。

クライアント PC から本製品へアクセスする

クライアント PC から共有フォルダーにアクセスするには、以下の手順を実施します。

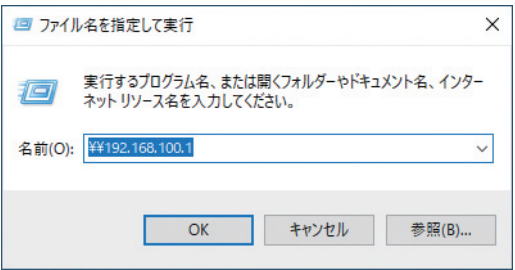
macOS クライアント

1. Finder メニュー「移動」>「サーバーへ接続」をクリックし、サーバーアドレス入力欄に「afp://xxx.xxx.xxx.xxx」(x は IP アドレスの数字)を入力して「接続」ボタンをクリックします。



2. 本製品に作成したユーザーの名前とパスワードを入力して「接続」ボタンをクリックします。
3. 接続可能な共有フォルダーのリストが表示されます。アクセスする共有フォルダーを選択して「OK」をクリックします。
4. 共有フォルダーがデスクトップにマウントします。

1. デスクトップ画面の検索メニューに「ファイル名を指定して実行」を入力し、検索結果として表示されたアプリをクリックします。
2. 名前欄に「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx」(x は IP アドレスの数字)を入力して「OK」ボタンをクリックします。



3. 本製品に作成したユーザーの名前とパスワードを入力して「接続」ボタンをクリックします。
 4. 接続可能な共有フォルダーのリストが表示されるので、アクセスする共有フォルダーをダブルクリックします。
- ※ Windows のバージョンや共有フォルダーの数によって、手順 3 と 4 が逆になる場合があります。

データのバックアップを設定する

万が一に備えて、以下のいずれかの方法でデータのバックアップを行ってください。

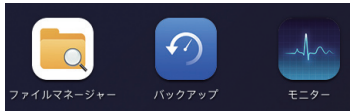
リモートバックアップ (NAS - NAS)

ネットワーク経由で本製品から別の同機種もしくは製品へデータをバックアップします。

ハードウェアのバックアップも兼ねているため、最も推奨される方法です。

※バックアップ先の NAS はバックアップ元よりも容量が大きい必要があります。

1. 管理画面のショートカットアイコン「バックアップ」をダブルクリックします。



2. 開いたウィンドウの左メニュー「リモートバックアップ」を選択します。

3. 「保存先の追加」ボタンをクリックして、宛先の NAS の情報を入力して「テスト」ボタンをクリックします。

- ・IP アドレス / ホスト名: 相手先の IP アドレスを入力します。
- ・ターゲット名: 相手先の名前（任意）を入力します。
- ・ユーザー名: 相手先のログイン名を入力します。(NR5810M 以前の場合は、Rsync サービスのユーザー名)
- ・パスワード: 相手先のログインパスワードを入力します。(NR5810M 以前の場合は、Rsync サービスのパスワード)



4. 「正常」と表示されたら「確認」ボタンをクリックします。その後、「正常終了」のダイアログを閉じます。
5. 「追加」ボタンをクリックします。



6. 「レプリケーション」を選択して「次へ」をクリックします。

7. タスク名（任意）を入力し、✎ をクリックしてバックアップ元と Destination（宛先）のフォルダーを指定します。全て指定したら「次へ」をクリックします。

※元の共有フォルダーに「A」を選択、宛先の共有フォルダーに「B」を選択すると、宛先フォルダー「B」の中に元フォルダー「A」の**中身**がバックアップされます。



8. スケジュールを選択してその内容を指定し、「次へ」をクリックします。
9. 最終確認画面の内容を確認し、「確認」をクリックします。
10. タスクが作成され、指定日時になると自動的にバックアップが開始されます。

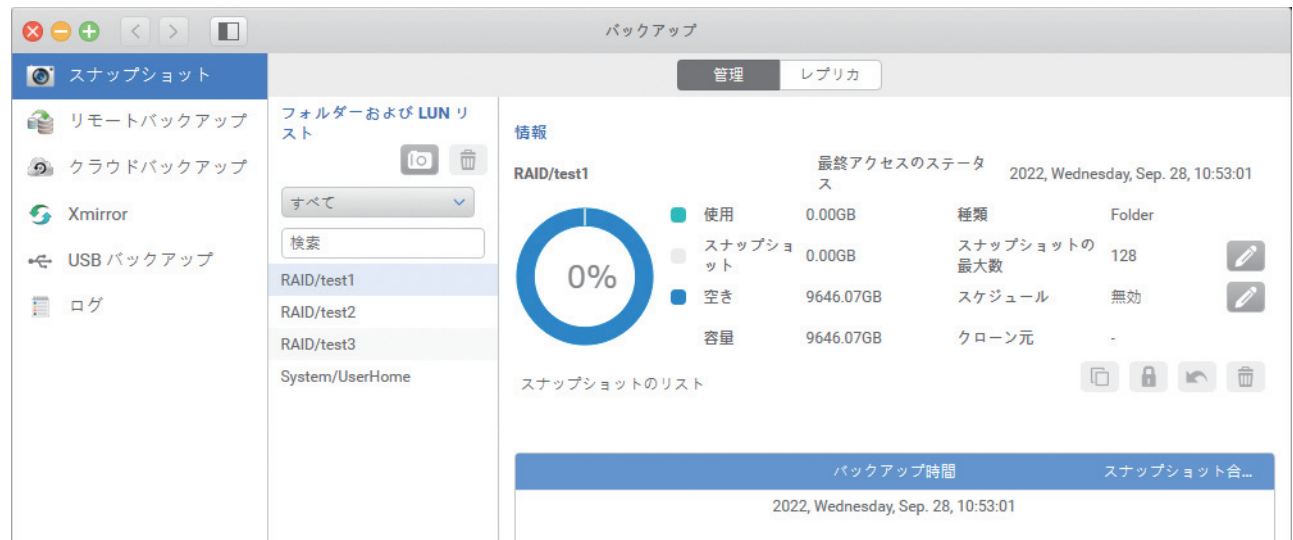


※バックアップの開始、完了はこのウィンドウの「ログ」で確認できます。

スナップショット

本製品の内部へデータを世代別にバックアップします。

1. 管理画面のショートカットアイコン「バックアップ」をダブルクリックします。
2. 開いたウィンドウの左メニュー「スナップショット」を選択が選択されていることを確認します。



3. 「スナップショットの最大数」のボタンをクリックしてを設定します。

4. 「スケジュール」のボタンをクリックしてを設定します。

5. 指定日時になるとスナップショットが開始されます。

※スナップショットはスナップショットを作成した共有フォルダー内の不可視領域に保存されます。

※スナップショットの開始、完了はこのウィンドウの「ログ」で確認できます。